ド級編隊
エグゼロス
HXEROS
きただりょうま
5
JUMP COMICS SQ.

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社で一部デジタル彩色を行った特別編集版です。

ド級編隊
H×EROS
きただりょうま
5
JUMP COMICS SQ.

H×EROS

Characters

H×EROS EROSをHネルギーに変え、キセイ蟲と戦うヒーローチーム。

HXEWHITE	HXEPINK	HXEYELLOW	HXERED
白雪舞姫	桃園百花	星乃雲母	炎城烈人
エグゼホワイト	エグゼピンク	エグゼイエロー	エグゼレッド
ドジで特技がない事を気にしているが、内に秘めたEROSは人一倍。	姉への対抗心から、ヒーローへの誘いを受けた。烈人の雲母への気持ちに気付く。	幼い頃のトラウマで、エロに拒否反応を示す。幼い自分の姿をした幻覚・黒雲母に悩まされている。	幼馴染の雲母を変えてしまったキセイ蟲が許せなくて、ヒーローになる。雲母の事が好き。

Story

地球はキセイ蟲による侵略を受け、かつてない危機に瀕していた。しかし、そんな敵と日夜戦い続ける少年少女の姿があった。彼らの名はH×EROS――。トーキョー支部の紫子と萌萎との勝負に勝った烈人だが、彼を自分のHフレにしたい紫子から手作り弁当を渡されるなどのアタックを受けるようになった。そんな状況を快く思わない雲母だが、彼女には別の深刻な問題も生じていた。幼い頃の自分が幻覚としてちょっかいを出してくるのだ。その幻覚「黒雲母」は雲母と烈人が結ばれるのが最終的な目的ということで…!?

チャチャ

キセイ蟲の王女。Hネルギーを高める体質のため、仲間から疎外されていた。

叢雨紫子

トーキョー支部隊員。烈人を自分のHフレにしようとアプローチを続けている。

キセイ蟲

人間のエロスの源"Hネルギー"を奪い、絶滅を目論む宇宙人。

若草萌萎

トーキョー支部隊員。百花とは同じ中学校出身。

HXEBLUE

天空寺 宙

エグゼブルー

Hな漫画を描くのが趣味。XEROスーツのデザインを担当した。

contents

Hネルギーが欲しいか——?

……誰だ…?
どうなのだ…?
Hネルギーが欲しいか?
そりゃあまぁ…
健康的な男子高校生くらいには…
第19話
Hナジー☆モンスター
Hネルギーが欲しいのなら…己の生理現象に従うのだ…
フッ
それだけ…?
ちょっ
待ってくれ…!

はっ!?
パチ
はぁっ…
はぁっ…♡
どうしたのだレット…?
なんだか今日は寝相が激しかったのだ…
ポーッ
勝手に入って来て布団に紛らわしいことすんなっ
ポイッ
ニャー
あ
7:52

だだだっ
ってやべぇ遅刻っ！
今日朝礼なの忘れてた！
くっそー星乃の奴起こして行ってくれればよかったのに…
XEROスーツが完成してから数週間——
俺たちは特にこれといった事件もないまま平穏な生活が続いていた
とりあえずなにか食える物…
ガパッ
げっ
何も無いっ
空っ
仕方ない…これでも持っていくか

なんや烈人…
今日は
早いんやな
ふあ〜〜っ
おっす
桃園
ドドドン
それじゃあ
行って
きまーす！
なんや
朝から忙しい
やっちゃなぁ…
せや！
そんなことより
今日は本部から
とっておきの試供品が
届いてたんやった
えっと
名前は確か…

〝Hナジードリンク〟
飲むとHネルギーの新陳代謝が良くなるって話やったな
一体どんな効果なんや…
ぱかっ
ってあらへん…
誰や勝手に飲んだの〜〜〜っ!

じゃーなー
おー
あー…腹減った…
やっと帰れる…
プシュッ
すっ
食うか？
おサンキュウ――
…叢雨…さん…!?

って
また来た
のか…
またとか
言うな…！
た…たまたま
キセイ蟲退治の
ついでに寄った
だけだし…
もしかして
君 友達
居ないの…？
ムキッ
とっとと
友達くらい
居るわ！
まず
トーキョー支部の
3人だろ それから
…えっと…
………
……
Hフレなら
ここに一人
な…
なんか
ごめん…
うるせえっ
まだ居るわ

ったく
なーに赤くなってんだよ
ぐびっ
あっ
ん？
なんだこのジュース…
変な味だな…
人から貰っといてそれはないだろ…
烈人も飲んでみ？
いやいいって…
いーからいーから(笑)
…これ…
飲んだら間接キスだよな…
ゴクッ

うくっ

なーに二人でこそこそしてるのよ？

ふうっ
別に美味しいじゃない
じゃ 全部やるよ…
ドキドキ
ぐぬぬ…

ヒック
そういや聞いたけど星乃キララ
お前まだエグゼロスに入ったばっかなんだって？
どうしてもって言うなら先輩のオレがHネルギーの指導してやらないこともないぜ…？
パタパタ
ヒック
余計なお世話よ…
大体 私だってアナタに負けるつもりは無いんだから
パタパタ
ヒック
面白ぇ…それじゃあオレと勝負するか…？
へ？
ヒック
望む所よ…

叢雨はいつも通りだとしてもどうしたんだ星乃の奴…
なんかいつもとキャラが違うような…
!?
もしかして…
これを飲んだからか…？
〝エナジー〟じゃなくて
〝Hナジードリンク〟!?
飲料/Hナジードリン
炭酸飲料/Hナジードリ

カラオケの達人
良かった… 勝負って何かと思ったけど
カラオケのことか…
んしっ
ヒュウ
ヒュウ
あー ここのソファー柔らかくてめっちゃ気持ちいいぜー
なんかさっきより症状が悪化してるけど大丈夫か…
それにしてもなんだか暑くない…？
俺飲み物取ってくるけど なんかいるか？
オレはコーラで
私アイスティー濃いめー

よくわかってるじゃねーか
エグゼロスならそれらしくHネルギーで白黒つけようじゃん…
ヒック
で勝負って何なのよ？
アナタに限ってこんなカラオケで勝負なんてあり得ないでしょ…？
ヒック
実はHXEROSはスマホと連動出来てな
どれだけHネルギーが溜まったか表示出来るんだ
コト
一曲ごとに交代でアイツのHネルギーを多く溜めた方が勝ちってことでどうだ？
い…いーわよやってやろうじゃない…！
ひっく
やっちゃえわたしー
ヒック

持ってきたぞー
ガチャ
達人
!?
ビクン
びっくりした?
ぺろん
ぺろん
最近のカラオケってコスプレも充実してるんだな

叢雨はともかく…
星乃まで一体どうなってんだ…!?

ヒック
それよりカラオケなんてもういいからさ…
せっかくの個室なんだからもっと楽しいことしようぜ…？
いや…そんなことより俺は歌いたい曲が…
なによ…私よりもカラオケの方が興味あるってこと…？
ヒック

ひっくん
なぁ…もうちょっとこっち寄れって
あのー出来れば自分でマイク持って欲しいんだけど…
バーカそんなんじゃ全然Hネルギーが溜まらないだろ？
ぎゅッ
近くね……？
別に構わないけど!?
ほっ…星乃からも何とか言ってくれ…！
ひっくん
H59

すぽっ
ビクッ
そんなに嫌ならこっちのマイク使ってみない…？
こっちも…!?
ぽよーっ
大体星乃のセーラー服姿なんて中学の時以来か…？
ピピッ
H67%
MAX
当時を知ってる分今は余計に破壊力が…
………

ひっく
胸じゃなくても挟めれば同じだろ…？
ポロロン
ホラ歌っていいぞ？
歌えるかッ!!!
85%
ああそっか
Hネルギー溜めるなら
もっと別のモン挟んだ
方が良かったか？
ちょっと…それ
私のアイディア
でしょ!?
ちょっ…
さっきから何の話
してるんだよ…？
ぐい
ぐい
91%
も…もしかして
今朝の夢で楽して
Hネルギーを
得ようとしたから
そんな俺に
バチが当たったん
じゃ――

恐るべし――
Hナジードリンクの力――
ぎゅっ
けど…そんなモンに負けてたまるか…！
ぐぐ
ガバッ
ピクッ
ひゃうッ!?
パシャッ

びっ!!
しゃあ
あれ…私 今何してたんだっけ…？

あ〜
頭痛い〜

それに
この格好…
アナタの仕業
じゃないで
しょうね…？

オレに
聞くな…

まさかライバル
登場…なんてこと
ないわよね

プルルルッ

そろそろ
お時間ですが延長
なさいますか？

も…もう
限界です…

第20話

カラッ

天気良し

時間良し

服装は…まぁ良し

ピシッ

なんで相手が桃園なんだ——
第20話
二人のアマノジャク
BOSS
BOSS

―1日前
学校の近くでキセイ蟲の噂？
せやねん
ウチの学校の近くに
恋愛祈願の神社が
あるんやけど
そこにカップルで
行くと絶対に別れる
って噂になってるんや
ウィン
ウィン
そんなの
よくある話じゃんか
某テーマパーク然り
それがキセイ蟲と
どう関係が
あるんだ？

ここからがおもろい話でな
この神社に行ったカップルは100%酷い喧嘩別れしてるそうなんや
それに境内で巨大な虫を見たって話も…
!
なるほど…それは調べてみる価値はあるかもな…
それじゃあ今度の休みに皆で調べてみるか
それじゃアカンねん
?
言ったやろ？この現象はデートの時にしか起きひんって
すっ

ほな 次の休みは よろしくな♪

なんや その微妙な顔は

ん？ いやー ただ 気合入ってんな と思ってさ…

ああ これな… この前 雲母の買い物に 付き合った時に 一緒に買ったんや

せやけど
やっぱりウチには
こんな格好
似合わへんよな…
そうか…？
いかにもデート
っぽくていいと
思うけど…
ホ…ホンマ
…？
いやー　さすが
見る目があるで
やっぱり
烈人を選んで
正解やったな
!?
落ち着け俺…
そう…
これは任務…
それ以上でも
以下でも
ないんだ…
ぎゅっ♥

なぁ烈人
この納豆クレープ
めっちゃ美味いで
って めっちゃ
満喫してるし…
納豆クレープ
新発売
おいおい
今日はキセイ蟲
退治じゃなかった
のかよ？
そりゃあ今日 ウチらは
カップルのフリして
神社に行くんやで？
一からシミュレーション
しないとキセイ蟲も
現れんかもしれへんやろ

ペロッ
それに
キセイ蟲倒すには
Hネルギーも
溜めとかんとな
んまv
食べないん
ならウチが
食ったろか？
いいって
…！
桃園？
！

やっぱり桃園だ！
ぞろぞろ
そんな服着てるから全然わからなかったぜ！
どちらさん？
た…ただのクラスメイトや
なんでよりによってこんな日に…
あっはっは！
お前が制服以外にスカートなんて持ってるなんてな！
お前なんだよその服⁉
べっ別にええやろ！
君桃園の友達？
他校の人は知らないかもしれないけどコイツ学校じゃ全然こんなキャラじゃないんすよ
カァァッ
……

ちょっといいか？
アンタ達一つ勘違いしてるみたいだけどさ
俺は桃園の友達じゃなくて
(今日だけ)この娘の彼氏だから
へ…？
さ デートの続き行こうぜ
ガーン
せ…せやな

はーっ びっくりしたでもう…

不意打ちの恋人宣言は卑怯やわ…

お前が言ったんだろ？

神社に行くまではカップルのフリするって

やな！

せやけど助かったで烈人

ほら早く行くぞ

恋愛成就
で
ここがその
神社か…
ずううぅぅぅん

サーッ
なんかジメジメ
してきたな
気味悪い
やろ…？
びびって
抱きついて
きたりなんて
すんなよ？
何言ってんねん
そんなことする
訳ないやろ…

ギュッ
へ？
きゅっ
急になんだよ
桃園…!?
ちゃうねん…
これは身体が
勝手に…！
いったん
落ち着け
…な？
ぐっ
ドサッ

烈人の方こそ何してるんや…？
あ…あれ？今俺桃園を引き離そうとしたはずなのに…
ウチも…離れなと思えば思うほど逆に身体を締め付けてまう…
ギュウゥ
もしかして俺たち…
思考と行動が入れ替わってる…？
なるほど…それならここに来たカップルが喧嘩別れするのも納得や
だけどそれじゃあどうやって抜け出せばいいんだよ…!?
離れようとするほどくっつくってことは逆のことを考えてみればええんやないか…？
……逆のこと…？
ムニッ

想像するんや
烈人…
ウチを抱きとうてしょうがないって…

烈人にはああ言ったものの…
ウチはウチでなんとかせな…
ガバッ
せやけどなんやろこの感じ――
んっ…♡
烈人には他に好きな人が居って
これは本心やないってわかってるのに…
アカン…こんな積極的な烈人前にしたら…
キュッ
ウチも本気になってまいそうや…

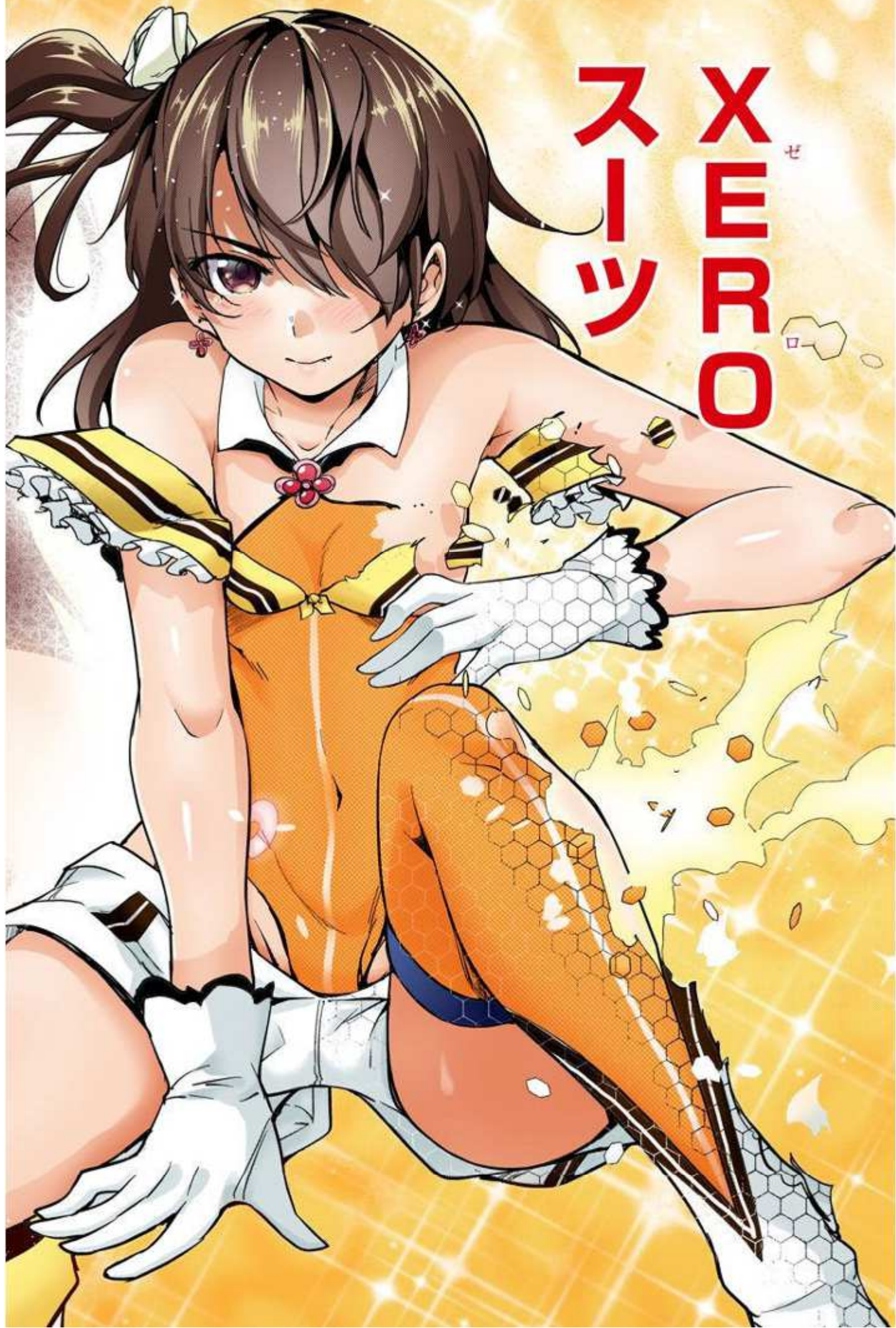
ま
そんなこと
もうどうでも
ええかー―
プルプル
はぁっ…
ドキッ
ドキッ
ドキッ
はぁっ…

ドクッ
桃園…
今のって…
ドクッ
ドクッ
や…えっと
その…
そうか
…！
キセイ蟲の仕業なら
Hネルギーが溜まれば
無力化出来るのか…!?
せ…
せやな…！
ま…
そういうことに
しといたろ

オイコラ
キセイ蟲！
さっきから
そこに居んのは
バレバレやで！
ギョッ!?

烈人は手を
出さんといてな
今回は
ウチ一人で
十分や
パアアアアッ！

XEROスーツ
ゼロ

解☆禁
リリース
!?
キショオオオオォオオオッ
ボォンッ

それにしても色んなタイプのキセイ蟲も居るもんやな
ったく…おかげでせっかくの休日が台無しだよ…
ぎゅっ
今度は何だよ…!?
!
うん別になんともあらへんな
んー ただ脈測っただけやから気にせんといて
?
ま今日のことは雲母には内緒にしといたるから安心しいや
……なんでそこで星乃が出てくるんだよ…

だって烈人好きなんやろ？雲母のこと
ギョッ
だっ　だから　それは前にも誤解だって言っただろ!!
そんなに焦らんといても雲母にはまだ言うてへんから安心しいや
それにこの方が…
ウチにだってこうしてドキドキさせて貰える権利があるってもんやからな…
まー　どうしても違うって言うんやったら
今日一日のコト雲母に話しても構わへんよな？
愛成就
頼むから止めてくれッ!!!

Extra Gallery

番外ギャラリー

第21話
あー
烈人くん？
ガタッ
今回は珍しく
君たちにとって
いい知らせが
あってね
ゴトッ
日頃の君たちの
活躍を労って本部から
一泊二日の海水浴旅行の
プレゼントがあったんだ
チャチャくんと
ルンバくんは
世話しておくから
たまの休みだし
しっかり羽を伸ばして
くるといいよ
それじゃあ明日
また迎えに来るから
それまで皆楽しんで
ありがとな
叔父さん
おおっ!!
だっ

海〜〜〜〜〜っ！

第21話
肌金海岸海開き

まさか都内にこんな浜辺があったなんてね
肌金海岸…
聞いたことないけどけっこう有名な観光スポットみたい
それに国内初のヌーディストビーチ化計画進行中って書いてある
な…何よそれ…
肌金観光協会
のヌーディストビーチ化計画
それにしてはお客さんは全然居ないみたいですね…
ええやんむしろ貸切みたいで
ガラーン
よしっ！海辺に一番先に着いた人が夕食に一品追加な
乗った
あっ！待てや宙っ烈人！
だっ

はー…もう
子供なんだから
……
うずうず
シートは私が
敷いておくので
星乃さんも行って
きていいですよ
そっ そう？
悪いわね
コーラー！
私を置いてく
なーっ！
ばっ
ふふ…
星乃さんも
素直じゃない
ですねぇ
そうだ…
私も日焼け止め
塗っとかないと…

プカ
私海ってはじめて…
あー気持ちいいー
プカ
!?
せーのっ
ざぱーん
ドーン!
ちょっと何すんのよ!?
あっはっは海に来たんやったら潮の味くらい知っとかんとな
ん?何かが手に…

ぺたっ

！

きゃああああああぁっ！

なななんなのソレ!?

なんだろ…ナマコかな？

この種類は初めて見るけど

よくそんなグロイの触れるわね…

毒もないし無害だから安心して

そ…そうなの…？

ぴゅるっ
つる
べしゃーっ
…これのどこが無害なのよ…
あれ…？なんか珍しい種類なのかな…
た…助けて下さい〜…
なっ なんだそいつら!?
もぞもぞっ
もぞっ

ぷかっ

HOTEL
肌金
Hadakane
もー
なんだったのよ
あれ…
あんなんじゃ
海水浴も
出来へんで…
すいませーん
せっかく来たのに
全然海で遊べません
でしたね…
ちょっと俺
トイレ行って
くる…
それじゃぁ
ロビーで
待ってるで
すみません
お待たせ
しました
パタ
パタ
パタ

久方ぶりなお客さんなものでつい支度が遅れてしまって…

いえ…私達の方こそ海水浴から思ったより早く引き上げてしまって
予定より早い時間に来てすみません…

お客さん達もしかして海に行かれたんですか？
はい…
それはさぞかし驚かれたでしょう
なんなんですかあれは…？

お客さんが見たのはおそらく〝テッポウナマコ〟だと思います
テッポウナマコ…？

といっても私らがそう名付けただけですが
今年になってその新種のナマコが大量発生しまして…
退治してもすぐにまた数が増えるわ逆に浜辺の利用客は減る一方で困ってるんです…

お客さん方も申し訳ないのですが今回は海に入るのは諦めてくださいまし
大変なんですね…
なんやせっかくの休みなのに…
コラッ

あ

ちょっ 何で お前らがここに いんだよ!?
そりゃあ こっちの 台詞よっ!
二人共 落ち着いて くださいっ
えっえっ どういうこと …!?
あらあら可愛らしい 業者さんですこと

つたく お前らは
旅行か何か
知んねーけどな…
!
オレらが来る
理由なんて
一つしかねーだろ

男

ジャーッ

男
つと…
ロビーはどっち
だっけ…？

キョ
キョロ

すいません…
だっ…男子トイレ
ってわかります?
あぁ それなら
すぐそこですよ
もじ
もじ
ありがとう
ございます…っ
へー…人が少ない
割に俺らと同い年
くらいの人も
来てるんだな
あのっ
!

あの…
もしかして君…
炎城烈人くん…？
そ…そう
だけど…
パァッ
僕
ファン
なんです…！
握手して
下さい！
ガシッ
あっ…してから
じゃ言うの
遅いよね…
ぱっ
？いや…
別にいいん
だけど…
トイレ
大丈夫？
ああ
そうだった！
ちょっと
失礼します
ダラ

ったく オレらは仕事だってのにお前らは遊びかよ

せやけど妙な偶然もあるもんやな

もしかしたらこれもおじさんの計画の内だったりして…

ありえる…しし

♪
な…なんだよ もう二人とも一緒だったのか
ヤッホー 炎城くん ☺
あれ おまえ達… なんでここに…
何？ まだちゃんと説明してなかったの…!?
あぅ… ごめん…
話は聞いたよ 炎城烈人くん
私は銀杏木よな 一応 トーキョー支部のまとめ役ね
こっちのナヨナヨしたのは大河橙馬よ
よろしく…

前に別行動した二人が迷惑かけたみたいでごめんね
ちょん
別にいいって…
トーキョー支部が来てること知ってたか…？
ひそひそ
私達も今知ったとこよ…
それじゃあ全員揃ったことだし
行こうぜサイタマ支部さんよ
？
ザザーン
どうだ？萌萎
スッ スッ

うーん…潮の匂いで分かり辛いけど近くにキセイ蟲は居なそう…
地元の人の話によるとナマコ駆除の際に数人がキセイ蟲らしき生物を目撃してるみたいですね
しゃーねぇ出てくるまでこいつらを駆除するしかねーか
キセイ蟲って…一体どういうことだ…？
えっとね…
トーキョー支部の調べによるとこの海岸にはキセイ蟲が潜んでて例のナマコで浜辺を使えなくしたとか…
旅館の女将さんの話を聞いたら私達も放っとけなくて手伝うことにしたって訳…
毎度のことながら回りくどい奴らだな…
で駆除って具体的にどうやって…

って何してんのよっ!?

何って駆除だけど？

キモ…

このテッポウナマコは威嚇で潮を吹くけど

一定量以上の水分が無くなると萎んで動かなくなるんだって

そうやってキセイ蟲が怒って出て来た所を退治するって作戦よ

宙も手伝うの…？
ごめんね痛くしないから…
ビュルルルッ♥
ったくしゃーないなぁ…
ピュッ
プシャッ

ど…どうします…？
そんなの好きな人にだけやらせておけばいいのよ…
ったくエグゼロスの名が聞いて呆れるぜ
そんな不真面目な奴らにはお仕置きだぜっ
きゃあああっ
お…俺たちは向こうでやってるから…
そだねっ…

ざざーん

はー…ホント大河くんが居てくれて助かったよ…

流石にこの男女比はおかしいもんな

女の子の方が快感が強いっていうのは有名な話だからね

……やっぱりすごいな…

でも皆からこんなに離れて大丈夫かな…？

今もしここでキセイ蟲が出て来たりしたら…

まぁ平気だろ？不本意だけど さっきのでキセイ蟲一体分くらいは溜まったし

あの…それを見込んで炎城くんにお願いがあるんだ…

僕の師匠になってください！
ぎゅっ
ん…？

叢雨さんと若草さんがよく別行動するのって……
僕の所為かもしれないんだ
………

だから何かHネルギーを
感じるコツとかあれば
教えて欲しいんです！
ずいっ
コッって
言われても…
俺は別に無理矢理
溜めようとしてる
訳じゃないし…
そ…そっか…
ごめんね変な
こと言って…
しゅん
いや…だけど君の
男子として
チームメイトを
守りたいって
気持ちはわかるよ
うん
だから俺も同じ
エグゼロスとして
君に協力したい
ホント!?
ぱあっ

えっ!? でもそれは恥ずかしいので…
つれねーなー 男同士なんだから それくらい全然平気だろー?
え〜…
ニッ
だから その前に 友達として
大河の Hネル源を教えて もらわないとな
…じ… 実は…
きゃああああ ああああっ
!?
今のって…
女子たちの方だっ!
だっ

ちゅーちゅーーっ
んッ…
!
!

キッシッシ…自業自得だゾ人間ども
私の可愛いペットちゃんにあんな酷いことするなんて…
他の海水浴客と同じようにHネルギーを絞り取ってやる
キセイ蟲
ナマ蟲
クソっ…Hネルギーが入らねえ…
人間のHネルギーは敏感な所ほど溜まりやすいからね
枯れ果てるまでどれくらいもつかなぁ？
チュー
チュー
雲母っ…自分ならちょっとやそっと吸われたくらい何ともないやろ…！
んなこと言ったって…こんな気持ち悪くちゃHネルギーなんて感じられないわよっ

大河…ちょっとこっち…
ひとまず俺がキセイ蟲本体を叩くから
大河は皆のナマコを引き剥がしてくれ…！
うん…わかった
……あれ…変だな…
あんな光景見たのに全然Hネルギーを感じないなんて――
しーん…
師匠…後ろっ！
うおッ!?
ぞぞぞっ
ちゅーちゅー

どうやらまだ隠れてる人間が居るみたいだゾ
離れろっこのッ…！
ぼっ
ぼっ
ぼっ
だっ…大丈夫…⁉
なんとかな…
けど…Hネルギーをほとんど持ってかれちまった…
これじゃ一発で倒すのは無理そうだ…
ぐっ
だから橙馬…
君が皆を助けるんだ…

ええっ!?
そんなの
無理だって！
それとも俺たち
二人でHネルギー
溜め合うか？
さすがに
無理だろ
それにさっき
言いかけてた
話…
俺は君のHネル源が
どんなものだって
協力したいと思ってる
チームは違えど…
俺たちは
同じ仲間だろ？
師匠…
…そうだよね…
このままいつまでも
隠してちゃ
駄目だよね…

キシシッ
自ら出てくるとは
こっちの人間は
潔いのだな
ズン
!
ザパ…ザァッ
…なぁ橙馬…
本当に任せて
大丈夫なのか…!?
師匠が
言ったんでしょ?
僕がHネルギーを
溜めるしかないって
だからって
流石に何も
聞かされない
ってのは——
先に
謝っとくね
師匠…
ごめん
〜〜〜っ!!!
ズ
えええぇ
ええぇっ!?

ドシャアッ
……
!

!!
!?
ビクンッ
そう…僕の
Hネル源…
それは──

第三者視点でのHネルギー鑑賞
ア!!
ぞくっ
ぞくぞくっ
やっぱり師匠の受け身はすごい…
あんな的確に女体に着地するなんて…
ちょ…どこ触ってんのよ…!?
ッ…水着が絡まって…
実際目にすると映像なんかよりずっと刺激的で…
はぁあっ
H
僕の中からも何か込み上がって…

H(エ)ネルギー弾(だんがん)
出(で)ちゃうっ!!!
…まさか
お前達(まえたち)が…
…噂(うわさ)の…
…エ…グゼ
…ロ…ス…
しゅう
うぅぅぅぅ…

きゃあああ
アアアアッ!!
バチーン
ぐほっ!!!
まさか あの橙馬が
キセイ蟲を倒す日が
来るとはなー
サイタマ支部の皆さん
今日は本当に
ありがとうございました

せめて何か
お礼が出来れば
いいんだけど…
よなちゃんは
真面目だねぇ
そうだ！お礼に
明日トーキョーで
遊んで行きませんか？
良ければ私が
ご案内します
いいん
ですか…？
ごめん…
叢雨さんは
来なくても
大丈夫だから…
(炎城烈人が
来るなら)
オレも行くに
決まってんだろ！
ったく何勝手に
話進めてんだよ
よな
め…
珍しいね…
ねぇ見て
…夕日…
！

今日は色々あったけど

この景色が守れたと思えば安いものね

大丈夫 師匠…？
擦り傷とかない？
ごし
ごし
まぁ
なんとかな…
だけど今日は
ありがとね…
こんな僕の
頼みを聞いて
くれて…
そんなこと
気にすんなよ

でも羨ましいな
この身体…
何かで鍛えてたりするの？
まぁちょっと
筋トレをな
逆に橙馬はもう少し
肉づき良くした方が
いいんじゃないか？
…なぁ橙馬…
まだ隠してる
ことなんて…
…ないよな…？
な…
ないけど…
いや…なら
いいんだ…

!?
はらっ
ばっ
あはは…
…ごめんね…
僕他人より乳首が
少し大きいのが
恥ずかしくって…
ドキ
ドキ
ま…まぁ
気にスンナ…

!?

もぞもぞ

きゅうっ

ぺしゃっ

内股になんか違和感があると思ってたけどさっきのナマコが張り付いてたのか…
いや流石に気付こうよ
HOTEL

Extra Gallery

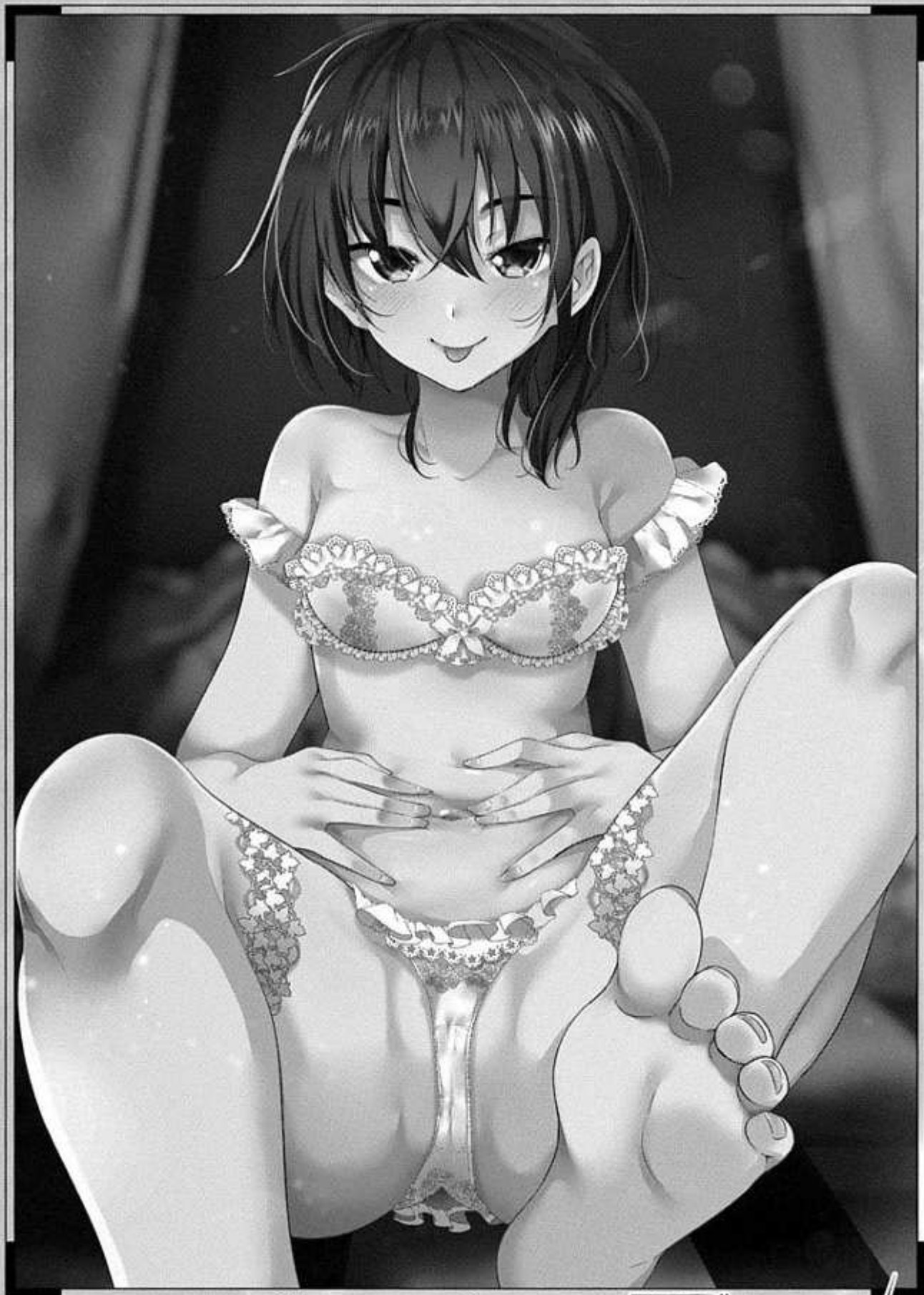
番外ギャラリー

ちゅんちゅん

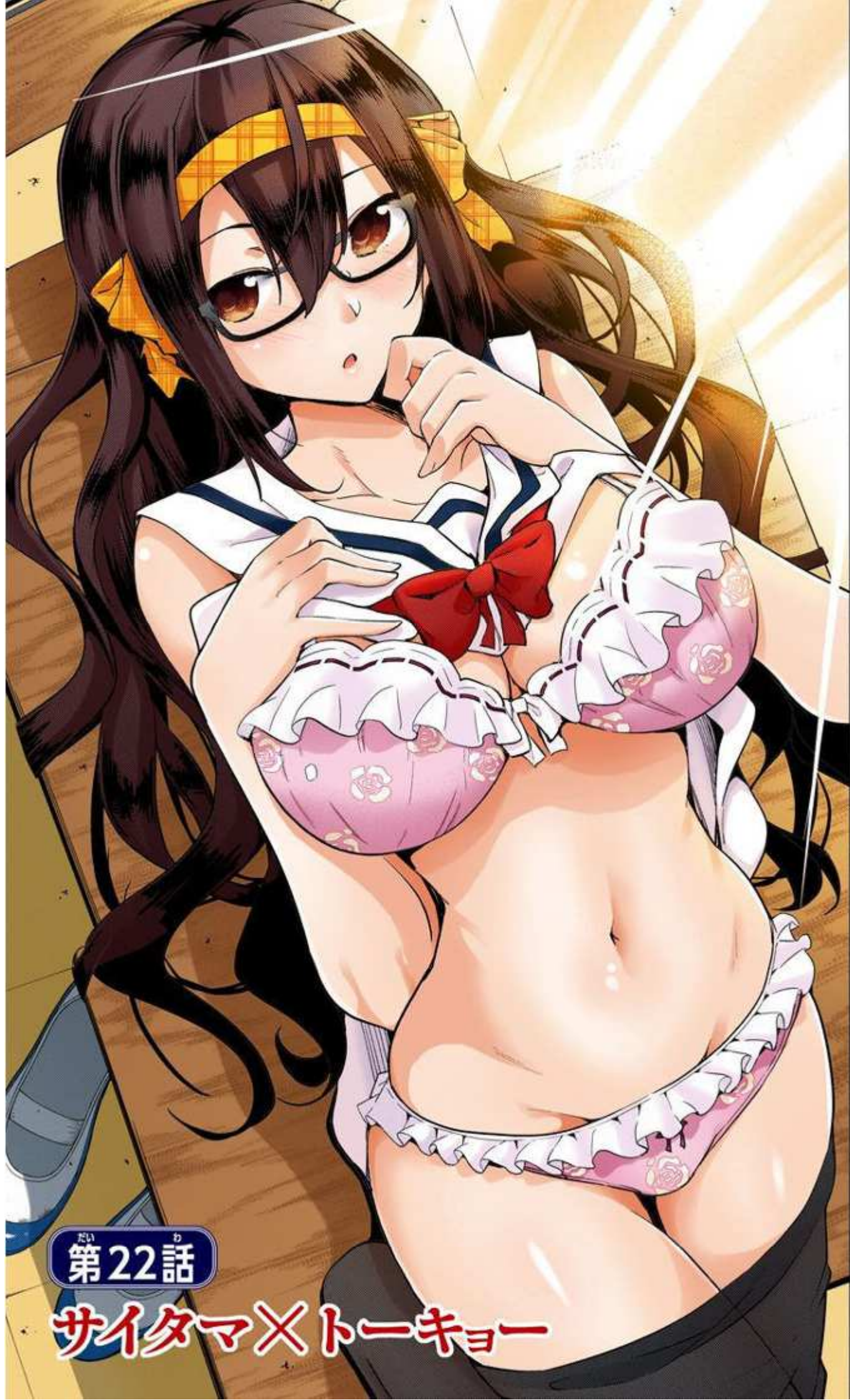
ん…

ゴロンッ

!?

ふにふに

びっくりした…
そうだった… 俺たちは今 トーキョー支部の人たちと一緒に旅館に泊まってるんだった…
にしても… 寝相悪いなぁ
彼は大河橙馬
トーキョー支部唯一の男子らしい…
おーい 橙馬 起きてるか？
すーすー

ったく はだけ過ぎだっつーの…
目に毒だから直しといてやるか…
朝やでー おっきしとるか男子共ー！
ふぁ〜… そんなにデケー声出さなくても聞こえんだろ
ぱぁんっ
ん？

まさかそんなに欲求不満やったんか烈人!?
気付かなくてすまへん
んだよ それならそう言ってくれれば手伝ってやんのに
ガシ
はぁッ!?
違えーって…!
ぱ
プルン
あ
やっぱり…♡
助けてくれ橙馬っ!
…?おはよう師匠…

第22話
サイタマ×トーキョー

食事処
いや～ありがとうございます
今朝 主人が海岸のナマコが居なくなってるって大騒ぎしてましまして
お陰様で助かりました
おれいに朝ご飯はサービスですので
どうぞ召し上がってください
じゃんっ
おお～～～っ！
それで観光って話だけどさ
場所は決まってるのか？
そうですねぇ皆の意見を聞いてからにしようと思いまして
皆さんどこか希望はあるの？

私は何か癒やしがある所がいいかなー
ウチは最新のHEROグッズなんか見れたらええなぁ
私はグルメスポットなんかがある所が嬉しいなーなんて…
そんな都合の良い所なんてあるか…？
！
それじゃあ—
ヒソヒソ…
……なるほど！確かにそこはぴったりかも
それじゃあ行きますよ皆さん

カラオケ
ざわ
ざわ
秋葉原駅
Akihabara station
ざわ

やっぱりHERO(ヒーロー)たる者(もの)トーキョーに来(き)たら この街(まち)に来ないとね！
とてもわかる
ざわ
銀杏木(いちょうぎ)さん…やけにテンション高(たか)いけど
もしかしてアキバ慣(な)れしてる…？
みたいだね…
……
パタン
ざわ
コインロッカー

それじゃあ行こっか
ぞろぞろ
まずはどこにするん？
ちょっと待った
観光とはいえ こんな大所帯でうろうろしてちゃ邪魔だし恥ずかしいだろ？
だから行動班を２つに分けねーか？
確かに…
４：５で分かれよっか
それじゃあH値の高い人から順に好きなチームに入ってくってのはどうだ？
よっしゃ…！
今朝のこともあるし これできっと炎城と同じ班に——

却下(きゃっか)
そんなの恥(は)ずかしくて公言(こうげん)なんてしたくないし…
あの…私(わたし)も恥(は)ずかしいのでジャンケンにしませんか…？
へ？
じゃーんけーん・・・
カラオケ
銀杏木班(いちょうぎはん)
それじゃあ私達(わたしたち)がこの3人(にん)を案内(あんない)するからまた後(あと)でね
あっ！この店行きたかったんです
くっ…
どうしたの師匠…？
ずーん
うんこの二人(ふたり)の案内(あんない)は任(まか)せて
若草班(わかくさはん)
なんで萌菱(もえな)がリーダーやねん…
………

はぁー…
お前の所為で
炎城と別の班に
なっちまっただろ
うるさいわねっ
そもそもアナタが
チーム分けなんて
しようっていうから…
ほら お前だって
内心ミスったって
思ってるじゃねーか
ギクッ
い…一体
何のことかしらね…？
いつの間にか
仲良くなったん
やなぁあの二人
おかげで
久しぶりに二人っきりで話せるね
ももっち
それは
別に嬉しく
あらへんな

それでウチらはどこ向かってるんや？

ももっち達が喜びそうな所

ニコ

ん〜

FUKUROU CAFE

か…可愛い〜！

猫カフェやメイド喫茶もいいけどこういったマニアックな店がこの街の醍醐味なんだよね

まさかトーキョーのど真ん中で本物のフクロウと触れ合えるなんてな(小声)

それにしてもフクロウにもいろんな表情があるんだね

鳴き声も静かで癒やされますね～

是非写真も撮って下さいね
ただし近付き過ぎたりフラッシュを焚いたりすると彼らもびっくりしちゃうので気をつけてね
カシャ
ま帰りに星乃にでも見せてやるか
はーい
仲良さそうだね炎城くんと星乃さん
い…いや別にそれ程じゃ…
ん？この子達の話だったんだけど
そういうことね…

聞き違いじゃなければ私はHEROショップに行くって言うから付いて来た訳だけど…
大体こんな所未成年が入っちゃ駄目でしょ…！
大丈夫だよきらりん
〝H〟が抜けてるじゃない〝H〟が!!!

!?
1階はただの
ジョークグッズ
売り場で大人向けは
2階からだから
ウィン
ウィン
せやて雲母も
いざという時の為に
買うた方が
ええんちゃうか？
ちょっ
近づけないでよ
そんな物ッ！
はっ
ジト…
私ちょっと
外の空気吸って
くる…！
だっ
あ
逃げた

あー…恥ずかしかった…
ふあぁぁッ!?
って叢雨ッ…さん…!? なによそれっ
ななな何事っ…!?
そんな初心でよくエグゼロスなんてやってられるよな

昨日今日の
お前たちを
見た限りじゃ
まだ炎城烈人との
関係は変わって
ねーみたいだな
そ…それが
どうした
のよ…？
ふーん
やっぱりな…
さっきの
班分けで気付い
ちったんだけど
お前は自分の
どんな感情よりも
まず恥ずかしさを
優先させるって…
！
だから
オレは決めたぜ
星乃雲母…
だから一緒に
住んでんのに未だに
Hフレにすら
なってねーんだよ
なっ…！

うず
今度こそホンキで
炎城烈人を堕としてヤるぜ…
んじゃあオレはちょっとシたいことが出来たんでもう帰るわ
ささっ
それに気ィ抜くなよ？
オレらの他にもアイツのこと狙ってる奴が居るかもしれねーしな
……!!
……

ひゃあっ!! どこですか宙ちゃん!?

姫ちゃん こっちこっち

へー アキハバラってこんな所もあるんだな

僕も初めて…

師匠 ちょっと僕トイレ行ってくるね

前みたいにもう迷わないようにな

やめてよもー

へえー…『VRヒロイン』
そういうのもあるのか…
あなたも体験してみませんか？
こういうの興味あるの？炎城くん
！
な…なんだ銀杏木さんか…
VRヒロイン
すいっ
これは隣に住む幼馴染に勉強を教えてもらうって設定のVRゲームね
私もやったことあるんだけどすっごいリアルなの
せっかくだしやってみなよ
じゃ…じゃあ少しだけ…

この人が叢雨さんも一目置く炎城烈人くんか…
ゴクッ
こういうのに食いつくのは流石と言った所ね…
ミャッ
私も昨日減った分のHネルギー補給したかったし…
お手並み拝見といこうかな…
まさか女子の目の前でVR美少女ゲームをやることになるとは…
ドキドキ
何が見える？炎城くん
教室と…さっきのPOPの女の子が一人
もうこんな時間になっちゃったね…
大丈夫みたいだね
ふふ…実はこのゲーム勉強は建前で女の子とイチャイチャしてからが本番…
きっとVRだけじゃ飽き足らずに―

ふへへ…最近のVRは感触までリアルに伝わってくるんだな
本当にそこに居るみたいだぜ
ちょっ炎城くん…!?

きゃ〜っ
どうしよう
もし本当にそう
なっちゃったら…!?
凄いな…まるで
本物の女の子が
目の前に居る
みたいだ…
って何やって
んの私——!?
こんなんじゃ
ただの変態
だよ…!
はぁっ…
はぁっ
…♡
ほぅ これは
これは…
ペロンッ
ドクンッ
ドクンッ
そう…これが
私のHネル源
—

学校でも家でも優等生…
そんな生活に嫌気が
差してた頃 エグゼロスに
勧誘された私
だけどそこでも他の
メンバーがアレな分
結局 私がまとめ役…
そんな私の
Hネル源は…
さわっ
背徳感――♡
ッ♡♡♡
びっくーーん
どさっ

スチャッ
今変な音したけど…何かあったか？
って銀杏木さん!?
あのッ…これには訳が…
…って納得してる場合じゃないか…！
ぱく
ぱく
まさかこの人もこんなキャラだったなんて…いや…エグゼロスなんだからむしろ当然か——

パン
い…今のは誰にも言わないで…
この通りだから…！
どの通り!?
たゆんへ
……何か勘違いしてない炎城くん…？
別に私にそういう感情は…
その…俺には今他に好きな人が居るから…
そういうことはホント冗談でも止めてくれ…！
はっ

ぱっ
も…もしかして
サイタマじゃ
メンバー同士で
こういうことって
やらない…？
当たり前
だろ…！
騙されたー
っ…！
叢雨さん どこの
チームも皆こうして
Hネルギー溜めてる
って言ってたのに！
な訳
無いだろ…
ホントにごめんっ
私 そんなつもり
じゃなくてっ…！
もう大体
事情はわかった
から…！

でも凄いんだね
サイタマ支部
って…
まじめっていうか
純真っていうか…
あんなことしなくても
キセイ蟲退治の実力は
トップクラスなんだから
普通の人から
見れば変なのは
トーキョー支部
だよね…
……
俺は別に
変だとは思わ
ないけどな
他人の目を気にして
戦うHEROなんて
いないだろ？

ありがと…
そう言われると
あの恥ずかしさ
にも耐えられ
そう…かな…
君みたいな人に
好かれた子が
少し羨ましいな
もー
探したよ
二人とも！
向こうももう
遅いから解散
しちゃったって
そうそうっ
悪い悪いっ
すっごい
面白いゲームが
あってさ…

悪いちょっとトイレに行ってくるから先行っててくれ

わかりました

はぐれたら置いてっちゃうよ

何言ってんだよ

そう簡単に迷う訳…

俺も橙馬のことは言えないな…
炎城？
星乃…！
あれ…桃園達はどうしたんだ？
ちょっと人が多くてはぐれちゃって…
俺と同じか…
これはチャンスなのか…？
な…なぁ
…ねぇ

一緒に帰らないか…?
…?

君みたいな人に好かれた子が少し羨ましいな

今度こそホンキで炎城烈人を堕としてヤるぜ…

へー 可愛いじゃない
だけど私はその隣の子の方が好きかなー
!

あれ…なんかこの子も誰かに似てる気が…
そっそうだ星乃たちは今日どこ行ったんだ!?
ぱっ
と…特に面白い所は無かったかな…
私…!?

扉が閉まります
ご注意下さい
ほっほら
そろそろ
降りないと
あっ
ごめんな
さい…
降ります
ッ…！
カッ
ツ
ンッ
プシューーーッ
はー
危なかった…
っ！
…星乃…
気付いてくれて
助かったよ…

髪飾りどうしたんだ…？
…あれ…？　さっき人にぶつかった時に落としちゃったのかな…
ファンッ
でもどうしよう…電車もう行っちゃったし…
あっ
俺…終点で探してもらえるように駅員さんに話してくる…！
たっ
そんなことしなくてもいいのに…
どうせまた同じの買えばいいんだし――

あの髪飾り…
いつから持ってたんだっけ…
毎日つけるくらい大切だったのに…思い出せない…
星乃
駅員さんに聞いたら終点なら少しだけ探す時間くれるってさ
もうこんな時間だし
後は俺が見つけとくから星乃は先に帰っててていいぞ
……

待って
私も一緒に行く
あの髪飾りはとても大切な物だった気がする…
ふーっ
やっと見つけた…

ありがとうございました
いやー見つかって良かったよ…
彼氏からのプレゼントとかだったら大変だからね
そっ…そんなんじゃないです…!
ははは変なこと言ってごめんね
もうこんな時間だし親御さんに連絡しようか?
いやっ…大丈夫です
……なるほど
ポテッ
こういう時は男がリードするもんだぞ
へ!?

さてと…もう
終電もないし…
どこかでおじさんに
連絡して迎えに
来てもらおっか…
そうだな…
ゴク…
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクンッッ

ねぇ
もしかして
炎城…
この髪飾りのこと…何か知ってるんじゃない…？
ドキッ
!?
ピラッ

私…キセイ蟲に襲われた頃の記憶が曖昧で…
これをいつから持ってたのか思い出せなくて…

もし何か隠してるんなら教えなさいよ
そ…そんな大したことじゃねーよ…
それに覚えてないってことは もしかしたら思い出したくない記憶なのかも…

多分 黒雲母に聞けばわかるだろうけど…
なんでだろう…それじゃあ駄目な気がする…
──だから
がしっ

お願い
教えて

わかったよ…ただし誰にも言うなよ…？
特に桃園には
うん
今更言うのも恥ずかしいんだけど…
その髪飾り…実は俺があげたんだよ
う…嘘…
うーん全然思い出せない…
でもそれとキセイ蟲に何の関係があるのよ…？
そ…それはもしかしたら多分…

……俺のプロポーズのプレゼントだったからだと思う…

Extra Gallery

番外ギャラリー

第23話
二人の雲母
おはよっ れっくん
おっす 星乃
いやー 昨日の夜は 暑かったねー
たっ

ホラ見て
薄着で寝てたら
こんなところ
蚊に刺されちゃった
!?
ぺろんっ
バッカ!
通学路で
そんなトコ
見せんなよ…!
ふーん…
クスッ
通学路じゃ
なかったら
見せて
いいんだ?
ねえ
・どっち・
思ったの?
ぱっ
うるせー
知らねー

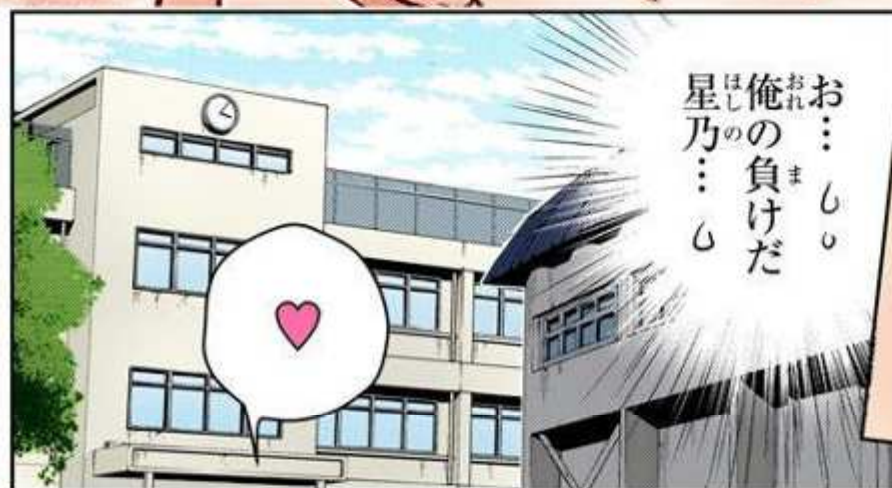
全くコイツは…
はーっ
人のことをすぐおちょくってくるし
わがままだし生意気だし
だけど俺は…
そんな星乃が好きだった
あいつの誕生日の今日こそ…
ぎゅっ
俺が主導権を握ってやる…！

じゃーねー
!
なんなのよ
れっくん…
こんな所に
呼び出すなんて…
それに
この手紙…
ピラッ

これ…本気なの…？
きみに"けっこん"をもうしこむ。
ほうかごたいくかんうらでまってる。りんたろう
まぁな…
ふっふっふ計画通り…
そう…これは"けっこん"という字に見えて
実は"けっとう"と書いてあるのだ！
どーん
さぁ…いつものように俺を弄って来い星乃…！
へー私のことそんな風に思ってたんだー
結婚と読み間違えた星乃を俺が弄り返すという完璧な作戦
俺は"決闘"って書いたつもりなんだけど何と勘違いしてるんだーって

ま…まぁ
れっくんが
そう言うなら…
だけど…
婚約なら
まだしも
私達には
ちょっと早い
かなーなんて…
あれ…なんだ
この空気…
思ってたのと
違うぞ…
あの星乃のことだ…
これで済む
はずがない…
そ…そうだ
これ…！
きっと何か
企んでるはず
…！

流石にここまで言えば煽って来るだろ…
今日お前誕生日だろ…？
これやるから…手紙の返事が決まったらつけて欲しい
さあ…本性を見せろ星乃——！
……ありがと
大切にする…
お…俺の負けだ星乃…
♥

…そう…
だったのね…
ふふっ
ちょっと
がっかりした?
うるさい
というか
それのどこが
プロポーズ
なのよ…!?
あ…あれは
お前があんな
反応したから
…!

だけどキセイ蟲に遭遇してからしばらくした後…

それをつけてるのを見て一緒に帰ろうって誘ったら…

は？冗談はその変な苗字だけにしときなさいよ

ガーーン

そ…そんな…

あの時もあの時も…

恥ずかしすぎて死にたい――!

何そんなことで焦ってるのよ
今まで もっと恥ずかしい姿見られてきたくせに
全くなんでもっと早く言わなかったのよ…！
それにあの手紙に即OKだなんて…
あんたも意外にチョロいのね
ギクッ
わ…私もなかなか言うようになったじゃない…

!?
ガサッ
ツ…もしかして
キセイ蟲…!?
スチャッ
なんだ…
今の…?
まさか…
猫か何か
だろ…
ね…猫型も
居るの…!?
いや キセイ蟲の
話じゃなくて…
ガさ
ガさ

……
!!!
ぼっ
キュッ!
ちょーーん

ほっ
…タヌキ…？なんでこんな所に…
キョ
キョ
いや…アライグマよこの子かわいい…
いい子だからこっちにおいで
おいっ危ねーって…！
ビクッ
あっ!?

!?
あーあ…逃げちゃったか…
はっ
キャあああああっ
お…俺は何も見てないからっ…
違うの違うの！
さっき言った通りこれは叢雨さんが忘れてったから今度返そうと思って…
ガシッ

け…けどそれなら若草さんに頼めばよかったんじゃ…？
たしかに
まぁ…でもいいんじゃないか？
星乃もやっとHEROとしての自覚が出てきたってことで…
ぽかぽか
勝手に納得すんなコラーーッ！
いてッ…じょ…冗談だって…
ゴス
ゴスッ
ゴス
……
そんな本気になったら——

ぺちっ
パァァッ
!?!?!?
だっ…だから言っただろ…!
ぱっ
ほら…上着貸すからこれでも羽織って…

ドサッ
っ……

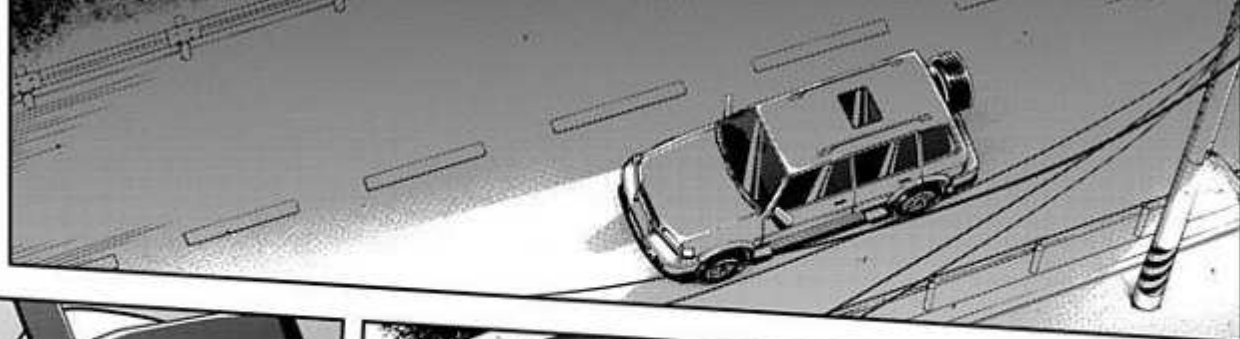
行ったみたい…
ごっ…ごめん急に…！
ドキ
ドキ
いや…お陰で助かったよ…
ドキ
…とっさのこととは言え まさか自分からこんなことするなんて…
さっきの炎城の話聞いて動揺してるの私…？
キセイ蟲に襲われた日…
もう二度と あんな恥ずかしい思いをしたくなくて男子を遠ざけてきたのに
これじゃあ結局 また前と同じ…

だけどもし…
キセイ蟲に
出逢わなければ
私は――
そういえば…
！
あの話だと
ちゃんとした返事は
まだしてなかった
みたいよね…
だけどそれじゃあ
私が告白の返事も
出来ない甲斐性なし
みたいじゃない…？
いやっ…別に
あれはただの
若気の至りだし
いいよ今更…！
そ…
そうか…？
だからもし…
あのキセイ蟲に
会う前の私達の
関係に戻れたら…
もしキセイ蟲を
残らず退治
出来たら…

その時は返事してあげる
ただし
とすっ
それまでに他の子にうつつ抜かしたら許さないから…

…あれ…
なんだこれ…
これって
ひょっとすると
もしかして…
待て待て
落ち着け俺…
そんなことって――
パッパッ
!
お待たせ
悪いね
遅くなって
おっと
お邪魔だった
かな？
……
そんなこと
ないから…！
早いとこ帰ろうぜ

この深夜に
田舎の公園で
二人っきり…
そんな恰好の
シチュエーション
でも迎えを呼ぶ
なんて二人とも
まだまだ青いなぁ…
これはもう少し
後押しが必要
かもね…

第24話
人類総HERO計画

音楽室
箱は英語で「box」キツネは「fox」6は「six」
じゃあ・・「アレ」は英語で？
そ…そんなの…まだ習ってないです先輩…ッ
フッ相変わらず勉強不足だな…
オマエ
正解は——
すっ
カーブド・ソプラノサクソフォーン
curved soprano saxophone
◆SAX…それは恋の音色

ヒメメ！
ボクも学校というものが見てみたいのだ
流石にそんな学校は無いとは思いますけど…
でもそうですねぇ…
それじゃあ一緒に散歩に行きますか？
ちょうど今からルンバちゃんの散歩があるので外から覗くだけでしたら
いいのだ!?

ルンバちゃんもチャチャちゃんが気に入ってるみたいですしね
♡
…ボクにその趣味はないのだ…
すーっ
やっぱり地球の空気は美味しいのだ
そういえばチャチャちゃんって違う星から来たんでしたっけ？
気に入って貰ったみたいでよかったです
！

モフッモフッ
あっ
ルンバちゃん
勝手に行ったら
駄目ですって
ハフッ
待って
ください
全く…レットにも
あれくらいの
行動力が
欲しいのだ…
ドクン
な…
なんなのだ
この匂い…
嗅いでも嗅いでも
止められない…
…こんなの…
くんくんっ

こんなのは生まれて初めてなのだ
マタタビ
マタタビ科
ゴロニャーン
私立早乙女女学園高等部
かわいーっ
ハッハッ

白雪さんって犬飼ってたんだねー名前はなんて言うの？
私が考えた訳じゃないんですけど
歩くだけで埃を掃除してくれるので皆からは〝ルンバ〟ちゃんって呼ばれてます
あははっ何それーっ
もそぞ
ひやっ!?
ペロ
ペロ
もーどこ舐めてるのー

ごめんなさい…！
帰ったら ちゃんと
言いつけますからっ
いーよいーよ
動物なんだし
本能ってのが
あるんでしょ
だけどこんな子
だと白雪さんも
大変だね…
はい…///
チャチャちゃんも
そろそろ
行きますよ？
って
あれ…？
さっきの
変わった猫
可愛かったねー
！
校内に
入ってったけど
大丈夫かな…？
もしかして
チャチャ
ちゃん…？

……なんなのだここは…？
ほとんどメスの人間しか居ないのだ…
こんなんで人類のHネルギー事情は大丈夫なのだ…？
ここはボクがなんとかするしか…
ねぇちょっと君…
！

迷子かな？
どっかから入ってきちゃった？
お姉さんと職員室行こっか
……
ビクンッ
!?
ぱっ

ビクンッ
ペタンッ
もう…どこ行っちゃったんですかチャチャちゃん
！

!!?
だっ 大丈夫ですか 皆さんっ!?
あ 白雪さんだ
いいよね白雪は… おっぱい おっきくて…
ホントだ… ちょっと 触らせて…
へっ!?
ふにっ

んっ…
ぐぐぐっ
じょ…冗談ですよね…!?
今の皆…まるでチャチャちゃんに感化された時みたいな…
!
チャチャちゃん!

なんで急にこんなこと…一体どうしちゃったんですか…!?
ヒメメ…
ボクはやっと気付いたのだ…
人類が簡単にキセイ蟲に打ち勝てる方法を…
!?
それこそ
人類総Hネル源計画なのだ!!

な…なんだか
チャチャ
ちゃん…
まるで酔っ払ってるみたいなんですけど――!?
にゃはは
ははー
ふら
ふら
止めてください
チャチャちゃんっ
そんなの
おかしいです!
なぜ止めるのだ?
こうした方が
効率的で…
なによりココは
メスばかりで
Hネルギーを
溜めるには向いて
いないのだ
するするっ
邪魔するなら
ボクにも考えが
あるのだ…
すっ

!?
千夜ちゃん……!?
舞姫…私
なんか身体が
おかしいんだ…
だけど…きっと
あんたならこれを
止めてくれるはず…
パァァッ
っ!?

チャチャちゃんの言いたいことはよくわかります…
だけど人間は効率とか理屈だけじゃないんです
それに…
？
女の子同士でだって…
Hネルギー感じる時があってもいいじゃないですか
チャチャちゃんにはあまり使いたくないですけど…
こうするしか無いみたいですね…

Hネルギー解☆放
安心して下さい…
痛くはしませんから

ベルカント砲

ビクッ
ビクッ
ヘッ
舞…姫…？
トサッ

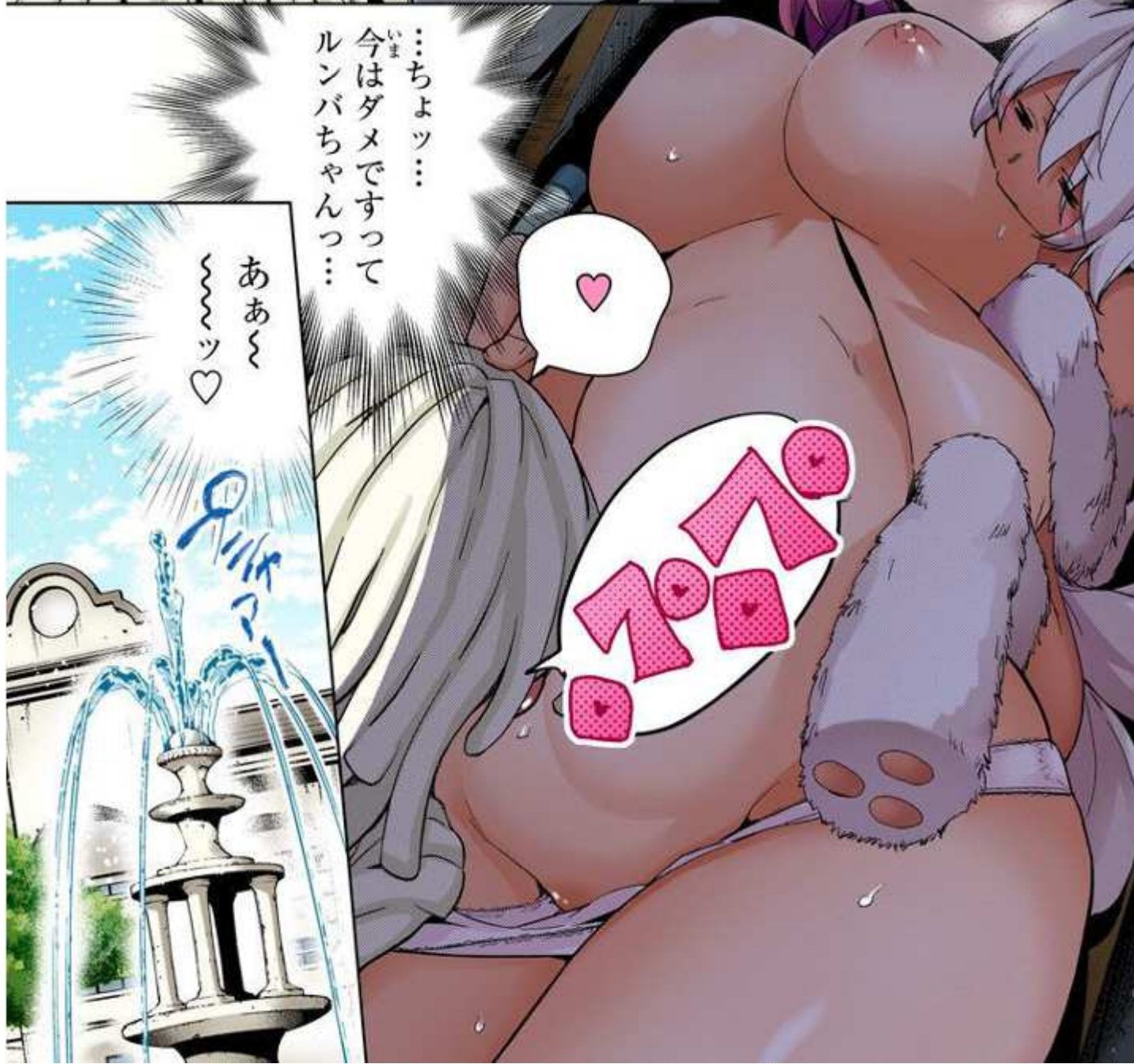
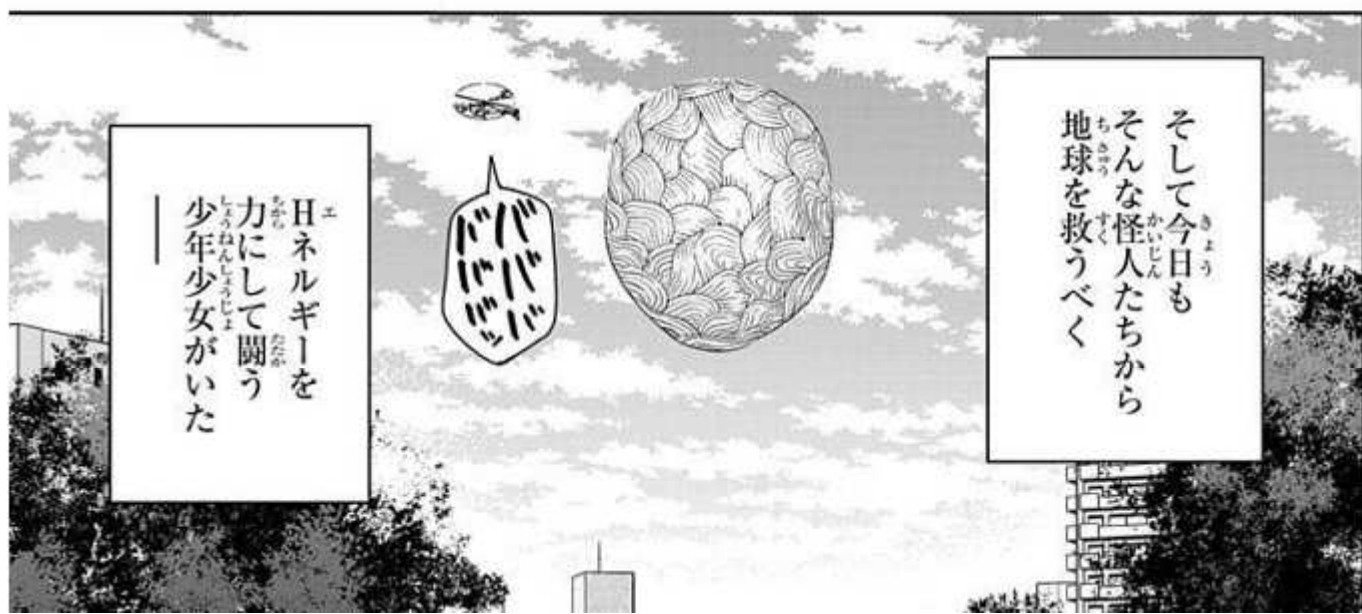
――さん…
大丈夫千夜さん？
ん…
むくっ
あれ…私いつの間に寝てたんだ…？
そうなんです…気がついたら皆こうして倒れてて…
前にもこんなことがあったし ちょっと怖いですね…
第6話参照
うーん…なんかすごい夢見てた気が…
そうそうやっぱりあれは夢だよな…！
わ…私も覚えてないですから…

ドキドキ
ど…どうしましょう…皆に服着せてたら逃げ遅れちゃいました…
くんくん
キュッ
…ちょッ…今はダメですってルンバちゃんっ…
♡
プロプロ
あぁ〜〜〜ッ♡
プシャアー

少年ジャンプ＋特別番外編

脚本：長谷見沙貴

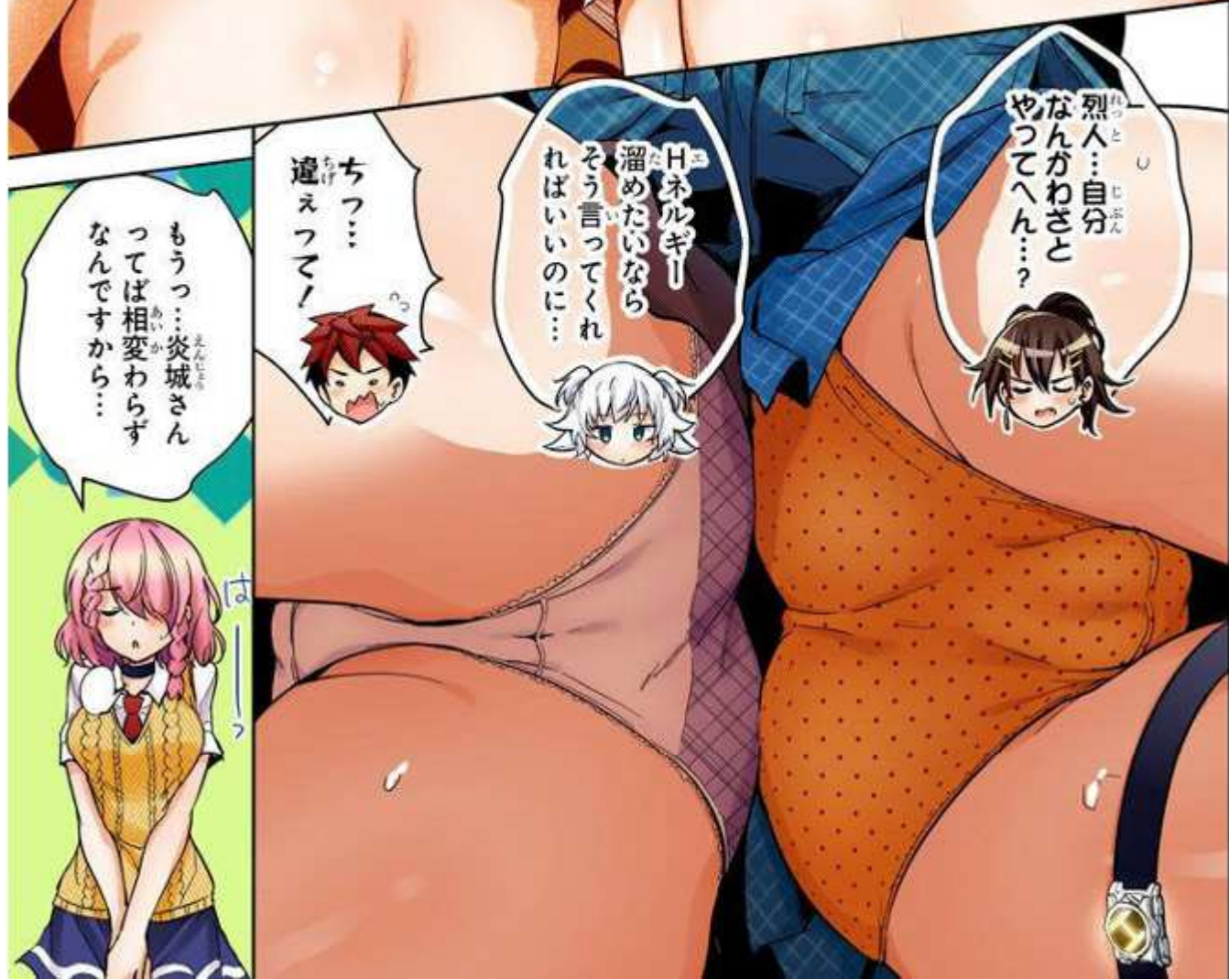
誰かがこう言った——

HEROはHとEROで出来ていると——

しかし目立つ巣やったなぁ
ホント派手すぎて見つけてほしいみたい
ちゅ…注意しましょう…
ここは敵の内部ですから気を引き締めないと…
隊員証
桃園 百花
Momoka Momozono
エグゼピンク
隊員証
天空寺 宙
Sora Tenkuuji
エグゼブルー
隊員証
白雪 舞姫
Maihime Shirayuki
エグゼホワイト
だけど暗くてよく周りが見えないな…
そりゃあ残念やったな烈人
ニヤ
?
隊員証
炎城 烈人
Retto Enjou
エグゼレッド

せっかく雲母のサービスショットが拝めるのに勿体ない
ばっ
!?
ウソつけッ！
だっ 大丈夫見えてないから…！
隊員証
星乃 雲母
Kirara Hoshino
エグゼイエロー
あ
うわああああああああ
きゃあ〜〜〜っ
や…やっちゃった…

ぐにゅっ
!
痛て…どこに
落ちたんだ？
暗くて何も…
んっ…
炎城さん
そんなに強く…
揉まないで
ください…
わわわわっ!!
ごめん！
ばっ
ガッ
ずでっ

！
！
ぺたんっ
ぽよんっ
烈人…自分なんかわざとやってへん…？
Hネルギー溜めたいならそう言ってくれればいいのに…
ちっ…違えって！
もうっ…炎城さんってば相変わらずなんですから…
はーーっ

……そういえば星乃さんの姿が見えない気が…
あちゃ〜はぐれてもうたか…
パラパラ
ここからじゃ戻れそうにないな…
もう少し進んで合流できる所を探すか
なんか広いトコに出ちゃったな…
キ
キ
キ
キ
予想通り現れたわねエグゼロス

これが罠とも知らずにね…
ザァ
それはこっちのセリフだ！
みんな行くぞ!!
ばっ
キセイ蟲
ハニトラ蟲
しーーん
あれ…HXEROSが反応しません！
宙も…なんか落ち着いてきちゃったし…
何やろな この感じ…Hネルギー一発抜いた後みたいや…
…どうしたんだ…？
みんないつもと様子が…

女子にも
賢者タイムって
あるんだね…
まさに
〝恋人掘った後
賢者の意志〟やな
霞だけ食べて
生きて
いたいです
!?
キショショショ
ショショッ!!
計画通り
効果抜群の
ようね!
!
貴様らがさっきから
嗅いでいるのは
とある星で採取した
〝ケンジャの花〟の香り
この花の強い
鎮静作用にかかれば
自慢のHネルギーも
発揮できまい

さてと…あの人間たちを縛り上げておけ
というよりこの広い宇宙から見れば こんな争い無意味なのでは？
……それは出来ません
ってお前もか!?
ったく…あれほどケンジャの花の扱いには気をつけろと言ったのに…
さっさとこいつを解毒室に運んでやれ！
はい…
………駄目だ…俺も全然Hネルギーを感じない…
気づいてくれ星乃…！
ココに来ちゃ駄目だ——

もうみんな
どこ行っちゃ
ったのよ…
でも
この部屋
なんだろ…？
!?
ずるっ
キャっ！
すってーん
痛ったー
べとーっ
もう！いったい
何なのこれ～

ドクーンッ
はあッ…♥
なにコレ…!? 身体の奥からナニかが溢れて来る…
このままじゃ私… いけないコトしちゃいそう…
ひとまず何かでHネルギーを発散しなきゃ―
H
ドドッ
!!!
ガッ

何だこの爆発は!?
オォオォオォオォオォ
!?
雲母!よかった無事やったんか…
ふらふら
…ん?でも何か様子が変やないか…?
!?
ガッ
ガバッ
違うの炎城…これは私の所為じゃなくて…
へ…?

だから…こういうこと…
ちょっ…
急にどうしたんだよ——!?
ペトッ
ね？わかったでしょ…？
…ああ…けど助かったよ星乃…
？

なるほど…あれが親玉って訳ね…
まさかあの人間…
アドレナの花の蜜を浴びたのか…
あれはケンジャの花が味方に作用した時の解毒用に採取したものなのに…
覚悟しなさい
覚悟しろ
キセイ蟲…！
ゴゴゴゴゴゴ

とんだ蜂蜜トラップだった訳だ——

ちっキショ〜〜〜〜!
うわあああああ
ああああああ
ああああっ!!!

みんな掴(つか)まって！
ファサッ
ガシッ

だ…大丈夫皆…？
…ああなんとか…
ぬめっ
でも…さっきの蜜でヌメッて…
ぬる
身体が熱くなって来た——
トローッ
どうすんだよコレ〜〜ッ!!
ド級編隊エグゼロス 5 (完)

Extra Gallery

番外ギャラリー

ド級編隊エグゼロス セミカラー版
5巻

きただりょうま

初版発行　　　　　2018 年
デジタル版発行　2019 年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社で一部デジタル彩色を行った特別編集版です。

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。